筑波學生新聞

発行所
筑波大学学生新聞会
編集代表
内田英憲
〒305 新治郡桜村天久保
3-4-9-5,オオキビル3F
TEL 0298(52)4460
振替 宇都宮6-31450

宣伝号

原点を見つめて

地球の夜あけから生まれた地球
（木村恒久「キムラカメラオールド」パルコ出版より）

筑波大の本質を鋭く追求 事実を捉える確かな視点

一般ニュース報道

八五年度、小紙は通巻号九回、就職特集号二回、受験生特集号二回、学外一回、本号を加えて計十五回発行し、面数八十八面に及ぶ。これは紙面可以内容的に、国際的に波及の時、だが外国人教師一括解雇問題、そして学長選挙など、転換期の筑波大を映し、現実社会に対を向け、科学万博が開幕し、こちらも転換期を迎えた学園都市の現状に迫ったり、自改、質の向上に努めてきた。ここ学生諸の結果をはじめ、この一年間のトップニュースの「ダイジェスト」を振返る。読者諸兄の評価を待ちたい。

新学長に阿南功一氏

臨時増刊号

福田四代学長の任期満了に伴う次期学長選挙三月十四日に行われ、基礎医学系教授の阿南功一氏が当選した。

一二名が、開学以来、四人目の学長に選ばれた。開学以来の実力、国の学長選は、阿南氏と、臨時増刊号「筑波大の本質を鋭く追求 事実を捉える確かな視点」を発行。

雅彦氏講演会

会告

島田

4月28日，新入生歓迎企画

筑波大学学生新聞会では、来たる四月二十八日、毎年恒例の新入生歓迎企画として「島田雅彦氏講演会」を催します。島田雅彦氏は、その鋭な感性と新鮮な視点から注目されています。学生・教官・職員の方々をはじめ、地域住民の皆様の、多数の御来場を心から期待を申し上げます。

「大学に何かを期待する人は、概念の外側に何かを求めて出かけて人に期待している。ただし、この小さな社会はまた閉鎖的である。住民のやること、いうことは五いに分かり過ぎている。ここに多様な様様としての大学の姿はない、といっていいなろう。本来、大学は学校と知的物である。ところが、大学は学校と知的物であるべきなのに、学校と学問が一体化して、政治運動や主義主張まで制度され、大学が一つの巨大なコンビューター化して、いる筑波大学で現代学なるものがあるまで、もっぱ、学問のありかまさまを、今の大学の問題点である。」

——「筑作家のリアルライフ」より——

（島田雅彦氏プロフィール）

一九六一年、東京生まれ、東京外国語大学ロシア語学科卒。四年生学中の八三年、「優西」に掲載された「優」いサヨクのための「寓話」が芥川賞候補となり、以後「「金沢行」「六回目の大学」「人類愛」「天国が降ってくる」（いずれも講談社刊）と次々と新作を発表、最新刊にエッセイ集「筑作家のリアルライフ」（講談社刊）がある。

教室占拠の学生に処分

第34号

筑波大では恒例のストライキの常現象。今年、学内で学生の実現活動には学生局の許可が必要となった。この「許可制」の問題を巡って学生と大学が対立を続けてきたのが筑波大の学園紛争である。八〇年と八四年に起こったこの紛争は、学園祭は中止、張見隆氏、元教育研究課長の解任を求める学生集会により学園祭は中止、しかし、八四年十月、学園祭開催を求める学生二名人が許可をキャ本部機関に「ゲバ」をかけ、ティール・ニコラウス氏も、外国人教師が、学生の要求を拒否されていた。学園祭開催に向けて、学生諸の「改革案」を用了した同盟氏の「改革案」を巡って、五月上旬現在、「教室占拠」に発展しつつある。

これが"国際化"か

外国人教師を一律解職

第36号

筑波大の四年以上勤務の外国人教師が一律に解職され、八五年度以降定員化されることが約束されていた大学教員教官要求活動には学局の許可が必要となった。この「許可制」の問題を巡って学生と大学が対立を続けてきたのが筑波大の学園紛争である。八〇年と八四年に起こったこの紛争は、学園祭は中止、張見隆氏、元教育研究課長の解任を求める学生集会により学園祭は中止、しかし、八四年十月、学園祭開催を求める学生二名人が許可をキャ本部機関に「ゲバ」をかけ、ティール・ニコラウス氏も、外国人教師が、学生の要求を拒否されていた。学園祭開催に向けて、学生諸の「改革案」を用了した同盟氏の「改革案」を巡って、五月上旬現在、「教室占拠」に発展しつつある。

朝日新聞記者 福田学長を提訴へ

第35号

「朝日新聞」記者（東京・筑波大学長の論評を巡って、「朝日新聞」記者（東京・筑波）が福田学長をサンケイ新聞社（東京）

文鮮明氏（統一教会教祖）の息子が筑波大に

第38号

「文鮮明氏」（統一教会教祖）の息子が筑波大に

地域ニュース報道

ポスト万博工業団地 地元雇用に不安

第35号

茨城県は、万博会場跡地の筑波研究学園都市・筑波北部工業団地を造成する計画をたてていた。同工業団地は、地元の雇用促進と

ゴミ不法投棄問題 集積所不足に原因

第36号

筑波大学のゴミの不法投棄を巡って、地元住民の怒りが爆発した。これは、ゴミの集積所が少ない、ことが、ゴミ投棄の原因の一つとなっている。ゴミ問題の解決を考慮に入れ

有毒物質 水道水より検出

第41号

研究学園都市の水道水に有毒物質が検出された。ジクロロメタンが、ゴミ焼却の際に発生するとされている。

筑波P4施設 抜き打ちで実験開始

第39号

財政難の確立立ひと段落つもの、今回は、ゴミ焼却の際に発生するとされている。

筑波P4施設 抜き打ちで実験開始

第39号

財政難の確立立ひと段落つもの、今回は、ゴミ焼却の際に発生するとされている。

次期学長選挙 六年ぶり混戦模様

第41号

福田保元学長の「任期満了」を控える筑波大学学長選挙の五年十二月、現在の状況は、「波乱」の模様。

次期学長選 二大候補の対決

第44号

投票日を直前に控えた次期学長選挙。現職学長の阿南功一氏と、医学専門学群長の岡崎功一氏との実質上の一騎うちとなる見込みだ。以前より次期学長候補ナンバーワンと言われてきた岡崎氏に対して、医学・基礎医学系教授の中から、「反岡崎」の声が高まっている。

次期学長選 二大候補の対決

第44号

投票日を直前に控えた次期学長選挙。現職学長の阿南功一氏と、医学専門学群長の岡崎功一氏との実質上の一騎うちとなる見込みだ。以前より次期学長候補ナンバーワンと言われてきた岡崎氏に対して、医学・基礎医学系教授の中から、「反岡崎」の声が高まっている。

「芦田均日記」今月より刊行

第42号

筑波大学出版会の「芦田均日記」（全七巻）が、今月から、岩波書店から刊行される。この記録は、戦後の混乱期に、厚生、外相、首相を務めた芦田均氏の日記である。

オールナイト上映会 事実上不許可に

第40号

第十一回筑波大学学園祭（双葉祭）十月十五日から十三日にかけて、オールナイト映画上映会の「オールナイト映画上映会」が、「特別授業」の下で、「大石採石場」（文部省氏の日本名）とされ、「大石採石場」（文部省氏の日本名）とされ、「大石採石場」（文部省氏の日本名）とされ

ルポルタージュ・特集企画

広い守備範囲、ツクバを網羅

筑波学生新聞の守備は、ニュース、解説ばかりでは、もちろんありません。映画批評、イベント情報、新刊紹介、コラム、まなざしの時間をとっての「ヤキ・ザ・ザ・ポイズン」はもう遠藤二千四円のOL（二年生）

この大学内外にたくさんの「ツクバ」の人たちがいます。「ツクバ」の人たちは、どんな人たちなのでしょうか。

「西武と西武百貨店の戦略を探る『西武とは』」や「『西武研究』『国際化』のこころ」や「『ツクバ』の『ライフスタイル』に影響を与えた西武百貨店の戦略」や「『ポスター』『ポップ』『ポスター』『ポップ』『ポスター』『ポップ』